

カナモトグループの震災対応：一日も早い復旧・復興に向けて

熊本地震 対応力を強化し、復旧作業に努めてまいります。

熊本地震の発生から約半年が経過しましたが、熊本県全体で解体が必要な住宅は約17万棟あり、瓦礫処理についても早急な対応が求められています。また、県内で必要とされる仮設住宅4300戸の建設が10月下旬から11月上旬の完成に向けて進められています。当社グループは(株)ニシケン本社内に設置した対策本部を軸に、グループ企業間の連携強化や経営資源の効率的な配置を行うなど、総力を挙げて復旧支援に努めております。



早急に再開を果たした熊本市電。写真は復旧作業の様子

東日本大震災 社会・生活基盤の再建に、引き続き尽力いたします。

「集中復興期間」から「復興・創生期間」へと移行した現在も、市町村による防潮堤建設や幹線道路整備など社会基盤の再建のほか、嵩上げ造成工事をはじめとする「防災集団移転促進事業(高台移転)」などの復興まちづくりも継続して行われています。当社グループは社会インフラとしてのレンタルの使命を果たすべく、引き続き復興支援に尽力してまいります。

Photo Report 各地で進む復興工事



宮城県岩沼市の五間堀川河川災害復旧工事



岩手県陸前高田市の気仙川の水門新設工事



岩手県陸前高田市の高台造成工事



岩手県大船渡市の盛川道路改良工事



宮城県石巻市の北上川長面築堤工事



宮城県本吉郡南三陸町の復興工事



宮城県牡鹿郡女川町の復興まちづくり事業

第52期第3四半期決算の概況 [平成27(2015)年11月1日～平成28(2016)年7月31日まで]

●連結経営成績(累計)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (百万円)	1株当たり 四半期(当期)純利益 (円)
第52期第3四半期	103,422(4.5)	10,576(△15.4)	10,049(△19.9)	5,889(△21.5)	166.65
第51期第3四半期	98,956(6.8)	12,498(△2.5)	12,546(0.9)	7,499(4.2)	208.08

●連結業績予想

第52期通期	143,200(7.4)	14,630(△10.1)	14,100(△12.8)	8,550(△10.5)	241.94
--------	--------------	---------------	---------------	--------------	--------

(注) 括弧内の数字は、前年同期増減率(%)を示しております。

[経営環境]

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、これまでの経済政策や金融政策の継続により、景気は穏やかな回復基調で推移しました。しかしながら、新興国の経済減速や、英国のEU離脱の影響による世界経済の減速懸念に伴い株安・円高が進むなど、引き続き留意が必要な状況でありました。

[第3四半期の連結業績]

当社グループが関連する建設業界におきましては、民間建設投資は建築・設備投資とともに堅調に推移しました。また、災害復興や東京五輪等に伴う建設需要は強さがあるものの、地方における建設需要はインフラ整備工事などが全体的に着工遅延の状況にあり、弱含みの状態が続いております。今後は徐々に回復の動きがみられると予想されますが、総合的な経営環境は依然として厳しい状況が続いております。

このような状況のなか、当社グループは中期経営計画(平成26年度～平成28年度)の諸施策に基づく重点項目の推進に努め、官民の需要が集中する首都圏等を中心に拠点展開を進めるとともに、成長戦略の一環として新たに「特機エンジニアリング部」を発足させ、同部に「トンネル課」と「水処理課」を設置するなど、国内営業基盤の拡充と拡大に努めました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,034億22百万円(前年同期比4.5%増)となりました。利益面につきましては、レンタル資産等への投資増強に伴う減価償却費の負担増加の影響から、営業利益は105億76百万円(同15.4%減)、経常利益は100億49百万円(同19.9%減)、また、親会社株主に帰属する四半期純利益は58億89百万円(同21.5%減)となりました。

[セグメント別の業績]

建設関連

当社の主力事業である建設関連におきましては、東北復興や東京五輪に向けたインフラ再整備を中心に、建設需要は底堅く推移しました。また、(株)ニシケンとの連結組み入れにより、これまで拠点展開の少なかった九州地区で売上が大きく増加しております。なお、当社グループは、熊本県と大分県で発生した地震による災害復旧活動に対応する為、グループ企業との連携強化や経営資源の効率的な配置を行うなど、グループの総力を挙げて現地の復旧支援に対応しております。

なお、中古建機販売につきましては、自社保有レンタル資産の適正な資産構成を維持するため、期初計画どおりの売却に留めたことから、売上高は前年同期比4.0%減となりました。

以上の結果、建設関連事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は948億30百万円(前年同期比3.3%増)、営業利益は98億72百万円(同17.7%減)となりました。

その他

その他の事業につきましては、鉄鋼関連、情報通信関連とともに堅調に推移したほか、新たに(株)ニシケンにおける福祉関連事業が加わったことから売上高は85億91百万円(前年同期比20.3%増)、営業利益は3億92百万円(同72.4%増)となりました。

[事業所数の増減]

当第3四半期連結会計期間における拠点の新設は中讃営業所(香川県善通寺市)、新庄営業所(山形県新庄市)、山梨南営業所(山梨県南巨摩郡)、柏崎営業所(新潟県柏崎市)、石狩営業所(北海道石狩市)の計5拠点でありました。なお、拠点の閉鎖はありませんでした。

連結財務諸表

連結損益計算書(累計)

(単位:百万円)	第51期第3四半期 (2014.11.1~2015.7.31)	第52期第3四半期 (2015.11.1~2016.7.31)
① 売上高	98,956	103,422
売上原価	68,116	72,706
売上総利益	30,840	30,716
販売費及び一般管理費	18,341	20,139
② 営業利益	12,498	10,576
営業外収益	558	400
営業外費用	510	927
③ 経常利益	12,546	10,049
特別利益	138	39
特別損失	193	115
税金等調整前四半期純利益	12,491	9,973
法人税、住民税及び事業税	4,473	3,468
法人税等調整額	305	301
四半期純利益	7,712	6,204
非支配株主に帰属する四半期純利益	213	314
④ 親会社株主に帰属する四半期純利益	7,499	5,889

第1四半期連結会計期間から以下の科目について表示の変更を行っており、当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間については組替えを行っております。

【連結損益計算書(累計)】

少数株主損益調整前四半期純利益 → 四半期純利益
 少数株主利益 → 非支配株主に帰属する四半期純利益
 四半期純利益 → 親会社株主に帰属する四半期純利益

連結包括利益計算書(累計)

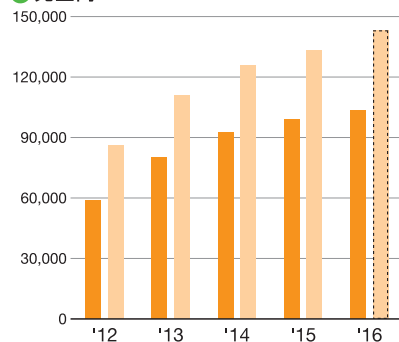
(単位:百万円)	第51期第3四半期 (2014.11.1~2015.7.31)	第52期第3四半期 (2015.11.1~2016.7.31)
四半期純利益	7,712	6,204
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	436	△ 362
繰延ヘッジ損益	—	△ 0
為替換算調整勘定	12	93
その他の包括利益合計	449	△ 268
四半期包括利益	8,162	5,935
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,952	5,625
非支配株主に係る四半期包括利益	210	310

【連結包括利益計算書(累計)】

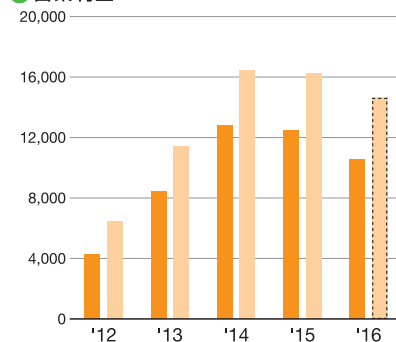
少数株主損益調整前四半期純利益 → 四半期純利益
 少数株主に係る四半期包括利益 → 非支配株主に係る四半期包括利益

■ 第3四半期 ■ 通期 ■ 予想値 単位:百万円

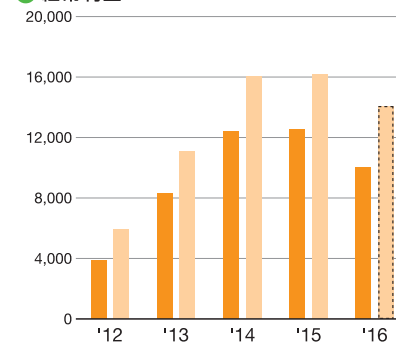
① 売上高



② 営業利益



③ 経常利益



連結貸借対照表

(単位:百万円)	第51期第3四半期 (2015.7.31)	第52期第3四半期 (2016.7.31)
(資産の部)		
流動資産	75,749	84,064
固定資産	122,156	134,205
有形固定資産	113,212	124,718
無形固定資産	302	1,072
投資その他の資産	8,640	8,414
⑤ 資産合計	197,905	218,270
(負債の部)		
流動負債	61,273	72,557
固定負債	64,232	67,163
負債合計	125,505	139,721
(純資産の部)		
株主資本	67,611	72,249
資本金	13,652	13,652
資本剰余金	14,916	14,916
利益剰余金	39,097	45,808
自己株式	△ 56	△ 2,129
その他の包括利益累計額	2,445	1,735
その他有価証券評価差額金	2,414	1,598
繰延ヘッジ損益	—	△ 0
為替換算調整勘定	30	137
非支配株主持分	2,343	4,563
⑥ 純資産合計	72,400	78,548
負債純資産合計	197,905	218,270

とってもいいモノ・読者プレゼント

巻末のアンケートハガキをご返送いただいた方の中から、抽選で100名様に当社ノベルティグッズをお贈りします。今号のプレゼントは、カナモトのオリジナルダイアリー手帳2017年版です。

水に強い塩ビ製の手帳カバーは、エンボスレザー風の仕上がり。深みのあるネイビーと鮮やかなパープルの2色を揃えました。マンスリー・ウィークリースケジュール、集計表タイプのメモページなど中面の機能性にもこだわった使い勝手のよい一冊です。

ご応募の締め切りは2016年11月4日(金) 当日消印有効です。

なお、当選の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。

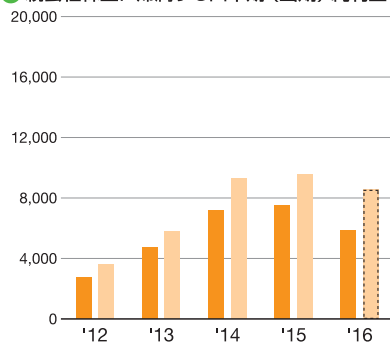
※色のご指定はできませんので、あらかじめご了承ください。



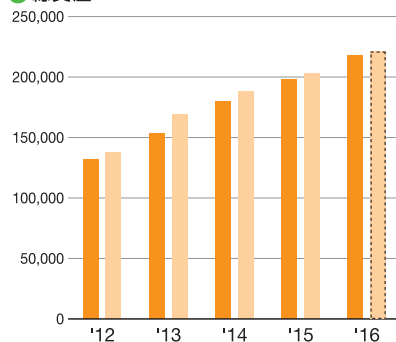
【連結貸借対照表】

少数株主持分 → 非支配株主持分

④ 親会社株主に帰属する四半期(当期) 純利益



⑤ 総資産



⑥ 純資産

